

愛知県立大学「地域ものづくり学生共同プロジェクト成果発表会」を開催します

グローバル展開を目指す地元企業の多言語版PR記事を学生が作成しました

愛知県立大学では、学生が海外展開に挑戦するこの地域の企業を取材し、多言語で海外向けに発信する記事を制作するプロジェクト型の授業を行っています。企業や商品・製品の特性を研究し、売り込む国のターゲット層の関心と呼ぶための記事を制作することを目的としています。学生が作成する記事は、日本語記事の翻訳ではありません。作成する言語ごとにターゲットを決定し、企業や商品の魅力を、読み手の背景文化も考慮にいたした記事作成を目指しています。

このプロジェクトを行うことにより、学生はグローバルに活躍するために必要な視点と言語能力を磨き、地域産業に関心をもつきっかけにもなっています。また、海外展開に挑戦する中小企業にとっては外国語での情報発信が課題のひとつであり、これまで参加した企業も学生が制作した多言語記事を活用しています。

本プログラム実施には、日本貿易振興機構(JETRO)名古屋貿易情報センターのご協力を得ています。

今学期は、「尾張三河の伝統を汲む産業」として、300年の伝統を持つ「三州瓦」、尾張徳川の馬具職人が始めたといわれる名古屋の「ランドセル」、今注目の名古屋めしのひとつ「味噌煮込みうどん」をとりあげます。

成果発表会では、取材対象の企業の担当者に対して学生がプレゼンテーションを行い、意見交換します。ぜひ、取材いただければ幸いです。

日時：平成29年7月29日(土) 13:45～16:30

(受付13:15～)

場所：名鉄観光住友生命ビル 8階会議室
(名古屋市中村区名駅南2丁目14番19号)

参加者：愛知県立大学学生、教職員
取材対象企業担当者、JETRO名古屋等

2017年前期参加企業

創嘉瓦工業株式会社(高浜市)

<http://www.souka.co.jp/>

株式会社村瀬鞆行(名古屋市)

<http://www.murasekabanko.co.jp/>

有限会社山本屋(名古屋市)

<http://a-yamamotoya.co.jp/>

これまでの学生作成記事は、iCoToBa(多言語学習センター)Webサイト「iCoToBaの刊行物」からご覧いただけます。

(<http://www.for.aichi-pu.ac.jp/icotoba/>)



企業担当者とのアイデアソン



企業取材の様子



ロシアからの訪問団へのランドセル紹介

※愛知県立大学「グローバル実践教育プログラム」について

本学では、2017年4月から新たに「全学グローバル実践教育プログラム」がスタートしました。このプログラムでは、地域のグローバル化によって生じた諸問題に取り組む解決できる人材育成を目標とし、プロジェクト型授業、アクティブラーニング、学部横断的な学びが可能という特徴を持っています。外国語能力育成と、実社会で必要となる行動力、問題解決力、リーダーシップ能力の養成を目指しています。あわせて、多言語学習センター(iCoToBa)での、外国語学習支援、異文化理解プログラムにも注力しています。

【本件に関する問い合わせ先】愛知県立大学戦略企画・広報室(藤本)

愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3 Tel:0561-76-8636

(担当教員：外国語学部国際関係学科・宮谷敦美教授)